

# 「Small Talk で Let's Enjoy English」の使い方

佐賀県吉野ヶ里町立東脊振中学校 教諭 吉田 喜美子

みなさん、こんにちは。先生方が担当されている生徒さんたちは、決められたテーマについて、「話すこと(やり取り)」ができておられますか？「大丈夫！できています」という先生もおられれば、「なかなか難しいです」という先生もおられることでしょう。

*Sunshine English Course* では、テーマについて短時間の即興的な「話す」活動を行うために、各 PROGRAM に2～3 つずつ「Small Talk」を設けています。

「Small Talk」では、学びたての文型も練習しますが、時には敢えて、学びたての文型ではなく、学んで少し時間を置いた(寝かせておいた)文型であったり、文型にこだわらず自分の考えや意見を述べる表現であったりを、生徒さんたち自身が考えて、選んで使っていくことを目指しています。

対話例「Small Talkで Let's Enjoy English」は、「Small Talk」をフリートークで行うことが難しい場合に、先生方のご指導の補助になればと考え、準備しました。この対話例には、似たような表現が何度も出てきます。一つ目のねらいは、日本語による説明をできるだけ省くことです。二つ目のねらいは、自分の考えや意見を述べる表現に慣れて、対話例に頼らなくてもどんどんと話すことができるようになっていくことです。

## おすすめの使い方

- ご使用の際は、**必ず、生徒さんたちの実態に合わせて、カスタマイズして使用してください。**
- 帯学習のペアトークでコツコツお使いください。授業の冒頭に対話活動の習慣付けをお勧めします。
- 1つの Small Talk を2～3回扱うのがおすすめです。
  - ◆ 1回目:導入と音読練習、ペアトーク
  - ◆ 2回目:1回目とは違う相手とペアトーク
  - ◆ 3回目:1回目、2回目の相手とは違う相手とペアトーク(3 回目は、対話例に頼らず 1 分間の Small Talk を継続するよう、励ましてください。)
- 2回目、3回目のペアトークの際、最後の挨拶「Thank you.」の前に、対話の流れに乗ってフリートークをするよう伝えましょう。定型パターンでの対話に続いてフリートークの練習ができます。1 年生の時から、本格的なフリートーク(3年生でのディスカッションなど)を成立させるための準備をしていくイメージです。対話の継続では、聞き手側の Repeat / Reaction – Comment – Question が大変重要です。中でも、対話の流れに沿った Question ができることは、Good Communicator としてとても大切です。いつの間にか「話すこと(やり取り)」ができるようになる姿を信じて、活動を積み重ねてください。
- 活動に慣れてきた頃を見計らって、たまには、「Small Talk で Let's Enjoy English」の「中渡し方式(1 回目の対話のあとで渡す)または「あと渡し方式(2 回目・3 回目の対話のあとで渡す)」もやってみましょう。「こう言えばよかったのか！」など、教室のあちこちから聞こえるようになります。
- 3 回目の Small Talk のあとに、2～3 分でよいので、対話の中で自分が発話した内容を記録する時間を取ってみましょう。積み重ねると、生徒自身のプロフィールになっていきます。継続は力なり！

## 【使った先生方の声より】

- ✚ 1 分間トークが無理なくできるようになりました。
- ✚ 文例は一見難しそうに見えますが、生徒たちはすんなり理解して、対話を楽しんでいます。
- ✚ 習うより慣れよ、を実感しています。
- ✚ 「Small Talk で Let's Enjoy English」を使うと、部分的にですが、生徒たちが自由に言葉を選んで対話をするできるので、考えながら対話をしている様子が見られるようになりました。時々、以前使用していた対話例文集を使うことがありますが、生徒たちの様子は、「Small Talk で Let's Enjoy English」の方が楽しそうです。
- ✚ 文例に示していない表現を自分で検索して使う生徒が出てきて、驚きました。特にコメントでは、相手の話の流れに応じた表現「Go for it. がんばってね」などを使う生徒がいて、感動しています。
- ✚ 3 年生の 3 学期に、テーマに沿ったフリートークをグループで行いました。うまく対話が成立するか心配していましたが、杞憂に終わりました。Small Talk の継続のおかげです。